

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【公開番号】特開2009-165897(P2009-165897A)

【公開日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-030

【出願番号】特願2009-113019(P2009-113019)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月13日(2010.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示部を備え、該可変表示部に特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

電力供給が停止しても所定期間は記憶内容を保持することが可能であり、前記遊技制御手段による制御を行う際に発生する変動データを記憶する変動データ記憶手段と、

遊技機に設けられている電気部品としての発光部品および音発生部品を制御する電気部品制御手段と、

前記可変表示部を制御する表示制御手段と、

所定電源電圧の電圧低下を検出して、電源断の発生を検出したときに検出信号を出力する電源監視手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

前記電源監視手段からの検出信号に応じて、バックアップフラグを前記変動データ記憶手段に設定する処理を含む電力供給停止時処理を実行し、

電力供給が開始されたときに、前記バックアップフラグが前記変動データ記憶手段に設定されているか否かの判定を実行し、

前記バックアップフラグが前記変動データ記憶手段に設定されていないと判定されたときには、前記変動データ記憶手段の記憶内容を初期化し、

前記バックアップフラグが前記変動データ記憶手段に設定されていると判定されたときに、前記変動データ記憶手段に保存されていた記憶内容にもとづいて制御状態を前記電力供給停止時処理を開始したときの状態に復旧させる復旧制御を実行し、

前記発光部品、前記音発生部品および前記可変表示部を制御することを示すコマンドを出力するコマンド出力手段を含み、

前記電気部品制御手段は、該コマンド出力手段から出力されたコマンドにもとづいて、前記発光部品および前記音発生部品を制御可能であり、

前記表示制御手段は、該コマンド出力手段から出力されたコマンドにもとづいて、前記可変表示部を制御可能であり、

前記コマンド出力手段は、識別情報の可変表示を開始させるときに前記可変表示部における識別情報の可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの可変表示時間を特定可能なコマンドを出力するとともに、前記可変表示時間が経過したときに識別情報の停止を示すコマンドを出力する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明による遊技機は、各々を識別可能な複数種類の識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示部を備え、該可変表示部に特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、電力供給が停止しても所定期間は記憶内容を保持することが可能であり、遊技制御手段による制御を行う際に発生する変動データを記憶する変動データ記憶手段と、遊技機に設けられている電気部品としての発光部品および音発生部品を制御する電気部品制御手段と、可変表示部を制御する表示制御手段と、所定電源電圧の電圧低下を検出して、電源断の発生を検出したときに検出信号を出力する電源監視手段と、を備え、遊技制御手段は、電源監視手段からの検出信号に応じて、バックアップフラグを変動データ記憶手段に設定する処理を含む電力供給停止時処理を実行し、電力供給が開始されたときに、バックアップフラグが変動データ記憶手段に設定されているか否かの判定を実行し、バックアップフラグが変動データ記憶手段に設定されていないと判定されたときには、変動データ記憶手段の記憶内容を初期化し、バックアップフラグが変動データ記憶手段に設定されていると判定されたときに、変動データ記憶手段に保存されていた記憶内容にもとづいて制御状態を電力供給停止時処理を開始したときの状態に復旧させる復旧制御を実行し、発光部品、音発生部品および可変表示部を制御することを示すコマンドを出力するコマンド出力手段を含み、電気部品制御手段は、該コマンド出力手段から出力されたコマンドにもとづいて、発光部品および音発生部品を制御可能であり、表示制御手段は、該コマンド出力手段から出力されたコマンドにもとづいて、可変表示部を制御可能であり、コマンド出力手段は、識別情報の可変表示を開始させるときに可変表示部における識別情報の可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの可変表示時間を特定可能なコマンドを出力するとともに、可変表示時間が経過したときに識別情報の停止を示すコマンドを出力することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、遊技機を、遊技機に設けられている電気部品としての発光体および音発生部品を制御する電気部品制御手段と、可変表示部を制御する表示制御手段と、を備え、遊技制御手段が、発光部品、音発生部品および可変表示部を制御することを示すコマンドを出力するコマンド出力手段を含むように構成したので、電気部品制御手段と表示制御手段とが遊技制御手段とは独立して設けられている場合に、遊技制御手段の制御コマンド送出の負担を増大させないようにすることができる。